令和8年 第3回定例会 一般質問

石川（いしかわ） 隆一（りゅういち） 議員



快適な住環境の回復へ

◇令和8年度の市税収入の見通しと税務行政の課題について
◇障害者就労継続支援B型サービスの現状と課題について
◇臭気対策について

湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

◆令和8年度市税収入の見通しと税務行政の課題について

質問 26年産米の概算金が1万円も引き下げられ、農家は深刻な逆風にある。この実態を、今後の歳入にどう織り込むのか伺う。

答弁 令和6年と7年の比較では農業所得者は一人あたり約240万円の所得増であり、概算金低下や経費高騰による収入減少は、来年度の個人市民税や国保税に影響する可能性がある。

◆障害者就労支援B型サービスの現状と課題について

質問 国の指針では年齢上限はないが本市では独自の年齢制限を設けているか。

答弁 一律の制限はなく65歳以上の利用者もいるが、新規利用時は意欲や目的を確認し、就業日数の調整や居場所としての利用を希望する場合は「地域活動支援センター」など別の支援へつなぐ調整を行っている。

◆臭気対策について

質問 周辺住民は窓を開けられないなどの苦痛を長年強いられ、憤りは限界に達している。生活環境に与える影響について、市長の認識と今後の対策について伺う。

答弁 皆様が大変な思いをされている現状を重く受け止めている。8月から着手した環境測定調査で臭気の実態を数値として可視化し、事業者等と共有し、目標を見据え、早期改善に向け取り組む。

質問 委託業者の調査に対し、市職員が不定期に行うサンプル採取は、最終的な調査にどう反映されるのか伺う。

答弁 悪臭が不規則に発生した際、判定できる機会を可能な限り設けるため、市職員が機器を用いて機動的にサンプルを採取する体制を整えた。このデータも本調査の最終評価に反映させる。



高橋（たかはし） 肇（はじめ） 議員



安心して暮らせる湯沢を問う。

◇身寄りのない高齢者への包括的支援体制の構築について
◇災害時における人的受入体制と実効性について
◇人口減少を前提とした「スマートシュリンク」による持続可能な地域づくりについて

湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

◆身寄りのない高齢者への包括的支援体制の構築について

質問 身寄りのない高齢者の実態と支援ニーズの把握状況について伺う。

答弁 人数等実態までは把握していないが、医療機関等からの相談や「未来ノート」の活用を通じ、支援ニーズの把握と早期相談に努めている。

質問 関係機関と連携しながら、個人情報に十分配慮した上で、高齢者の実態や、課題を把握する考えはないのか伺う。

答弁 本人から支援が繋がらない限り難しい状況であるが、相談があれば、その相談支援ニーズを踏まえ、実態把握はできると考える。

質問 関係機関と連携し具体的な課題や政策について議論を進めていくプロジェクトを立ち上げるべきと考えるが。

答弁 どのような形が一番現場として良いのかを検討し、今後の道筋をつけていきたい。

◆災害時における人的受援体制と実効性について

質問 災害対応業務ごとの必要人員と不足人員の事前把握について伺う。

答弁 災害時に必要な人員は最大1125人と想定しており、市職員だけでは対応が困難なため、平時から自治体や企業・団体等との連携強化に努める。

◆人口減少を前提とした「スマートシュリンク」による持続可能な地域づくりについて

質問 「スマートシュリンク」の考え方を第3次湯沢市総合振興計画に反映させるべきと考えるが所見を伺う。

答弁 「スマートシュリンク」の理念を根底に置きながら、将来にわたって持続可能で、市民が誇りを持てるまちづくりに全力で取り組む。

